7



水にうかぶ氷を考えよう その2

生

新

聞



う回は、水にうかぶ氷を考える問題(その2)です。前回(6日付) 取り上げた長野県立中学校の問題を解説します。

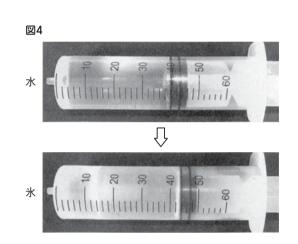
はじめに、理科問題を解くときに求められる力をあげておきます。

【理科問題で求められる力】

- 1 分析力…実験や観察の結果を表やグラフに整理し、特徴や性 質を見いだす力
- 考察力…分析した事柄から判断し結論を導く力
- 発見力…原因や問題点を見つけ出す力
- # 3 * 3 9 * 4 ・ * 6 * 5 0 * 7 ん * * 5 0 を確かめる実験を考え出す力



実験の図4より、水40cm3を発覚・熱に入れ、冷凍庫でその水をこおら せ、できた氷の体積を測ると44cm[®]であることが読み取れます。



このとき、注射器内にできた氷の体積を注射器に入れた水の体積で 割ると、

44÷40=1.1 (倍)

より、注射器内にできた氷の体積は、注射器内に入れた水の体積の1.1 倍になります。

また、表1より、注射器に入れた水の体積が30cm3、50cm3のとき、 たまずない。 まなりにできた氷の体積はそれぞれ33cm3、55cm3になることがわか ります。

表1				
	注射器に入れた 水の体積(cm³)	30	40	50
	注射器内にできた 氷の体積(cm³)	33	44	55

たいできた。
「注射器内にできた氷の体積を注射器に入れた水の体積で割るとそれ ぞれ、

33÷30=1.1 (倍)

55÷50=1.1 (倍)

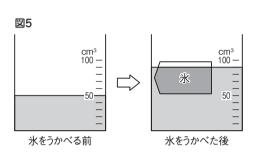
=

力し

となり、いずれの場合も、注射器内にできた氷の体積は、注射器に入 れた水の体積の1.1倍になります。

問題2

図5より、計量カップの自盛りを読むと、氷をうかべる前の水面の 『量盛りが50cm³、泳をうかべたあとの水面の単盛りが90cm³であること が読み取れます。



これより、水に氷をうかべる前後で、計量カップ内の水面の高さが 宗す曽盛りの値の差は、

90-50=40 (cm³) …あ であることがわかります。

表2				
	はじめの水の体積(cm³)	50		
l	うかべた氷の体積(cm³)	44		
結果	水に氷をうかべる前後で, 計量カップ内の水面の高さが 示す目盛りの値の差(cm³)	あ		
結果から	水面より下にある氷の 体積(cm³)	C		
わかること	水面より上に出ている氷の 体積(cm³)	う		

また、氷を水にうかべると水面より下にある氷の体積の分、水面が 上昇します。つまり、水面より下にある氷の体積は、水に氷をうかべ る前後で、計量カップ内の水面の高さが示す自盛りの値の差と同じに なります。これより、水面より下にある氷の体積は、40cm³ (…い) で

さらに、注射器内にできた氷の体積が44cm°ですので、水面より上に 出ている氷の体積は、

44-40=4 (cm³) …う とわかります。

ないままでは、本積が44cm3の氷がとけると、体積が40cm3の氷にもどります。つま り、体積が44cm³の氷がとけて水になると、

44-40=4 (cm³)

ほど体積が減ります。この4cm3の体積が、「水面より上に出ている氷 の体積」(…え)と等しくなります。そのため、水にうかぶ氷がとけて も水面は上昇しないことになります。

問題4

図6の北極海の氷と図7の南極大陸の氷を比べてみます。

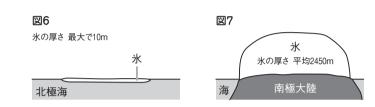
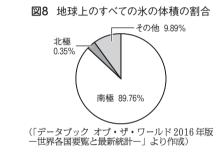


図6の北極海の氷は、氷の厚さが最大で10mで北極海にうかんでい るのに対して、図7の南極大陸の氷は、氷の厚さが平均2450mと厚く、 また南極大陸の上にのっています。そのため、その氷がとけると水が 海に流れこみ、海面が上昇すると考えられます。

また、図8より、北極海の氷の割合が、地球上のすべての氷の体積 の0.35 %であるのに対し、南極大陸の氷の割合は89.76 %と、北極海の



そのため、地球上の氷がすべてとけると海面が約70m上昇すると考 えられます。



問題 1 1.1 (倍)

問題2 あ 40 い 40 う 4

問題3 水面より上に出ている氷の体積

(例) 大陸の上にのっていて、その氷がとけて水が海に 流れこむ

毎週土曜に掲載します。